

市民と市長との対話集会 「スマイルミーティング」

上越市

令和8年5月27日(水)
安塚区(安塚コミュニティプラザ)

・・・ 略歴 ・・・

- 上越市藤巻出身
- 高志小学校、城北中学校、高田高校卒(中学・高校とも陸上部に所属)
- 東京大学法学部卒
在学中(1975年)に外務公務員上級試験合格
- 1976年4月外務省に入省
2017年12月の退官まで41年間勤務
- 外交官として、国内ではG7サミット、WTO(世界貿易機関)、OECD(経済協力開発機構)、国際協力銀行出向、OECD東京センター所長など、主に経済・経済協力畑を担当
- 在外では、ドイツハイデルベルク大学にて研修、在オーストリア大使館、仏(OECD事務局)、ベルギー(EU日本政府代表部)、在タイ大使館に勤務
- その後、フランクフルト総領事、アフガニスタン大使、ミュンヘン総領事、ヨルダン大使、ハンガリー大使を務める
- 2018年4月～2023年1月 上越市創造行政研究所所長
- 2025年11月9日 上越市長就任



こすげ じゅんいち
上越市長 小菅 淳一

1 はじめに

- ・ふるさと上越への思い

- ・市政運営の抱負

「信頼と誠実」を旨として、市民一人ひとりに

寄り添いながら、安心して心豊かに暮らせるまちづくり

⇒輝く上越、誇れる上越、

「ここに住んでよかった」と皆が感じられる上越



2 まちづくりの目標「4つの視点」

①みんなの笑顔 ②産業いきいき

③こどもと家族を真ん中に ④多様な学び

3 令和8年度の実施のポイント(4つの視点別)

4 令和8年度 安塚区の主な実施



2. まちづくりの目標「4つの視点」

1 みんなの笑顔



2 産業いきいき



3 こどもと家族を真ん中に



4 多様な学び



3. 令和8年度の取組のポイント(4つの視点別)

1 みんなの笑顔

◆13区の地域振興と活力向上

- ・多世代交流プレイスの整備（柿崎区ほか1か所）

◆安心の医療・介護・福祉

- ・上越地域医療センター病院の改築（設計に着手）

◆災害への備え・地域防災力の向上

- ・原子力防災の取組
（UPZ内指定避難所における空調設備設置 等）

◆美しく快適なトイレを通じた 「人にやさしいまちづくり」

- ・公共施設等のトイレ改修
（不特定多数の利用が見込まれるトイレから着手）

◆安定した行財政の基盤整備

- ・ふるさと納税の取組促進（寄附金受領目標額：15億円）
- ・ふるさと納税返礼品の開発等を支援する補助金の新設



2 産業いきいき

◆働く人を守り、育てる

- ・外国人労働者の受入支援（セミナー・個別説明会）
- ・就農に向けた研修機関の設置（R9年度研修生受入開始）

◆産業経済等の基盤となるインフラの整備

- ・直江津港開港60周年記念イベント

◆若者にとって魅力のある企業の誘致

- ・サテライトオフィス等に対する家賃支援（補助率等引上げ）

◆デジタル・AI・ITの導入・活用

- ・ものづくり企業DX伴走支援（DX導入段階の事業者支援）

◆農政の将来に関する取組

- ・スマート農業の推進（実演見学会、機械導入の相談支援）

◆観光振興

- ・インバウンドの誘客促進
（外国人ニーズに合わせたツアー・コンテンツ造成 等）
- ・連続テレビ小説を活用した観光推進（NHK「風、薫る」）

◆将来の産業労働を担う子どもたちの学習

- ・インターンシップ受入企業ガイドブックの作成
（高校生・大学生等に提供）



3 こどもと家族を真ん中に

◆切れ目のない子育て支援

- ・子育て短期支援（里親宅における一時預かり）

◆子育て世代・若者の家計負担等の軽減

- ・遠方の分娩施設等への交通費等の支援
- ・小学校給食の無償提供
- ・若者の奨学金返還への支援（助成対象期間を5年→6年に延長）

◆こどもと家族の相談支援の強化

- ・子どものメンタルヘルスを守るネットワークの構築



3. 令和8年度の取組のポイント(4つの視点別)

4 多様な学び

◆良質な教育

- ・大学等を応援する補助金の新設
(若者の人材育成や定着に向けた取組を支援)

◆多様な教育サービス

- ・外国につながる児童生徒・高校生への学習支援
(「中学生」→「小学校5・6年生、高校生」に拡充)

◆市民の学びと育ち

- ・図書宅配サービス
(図書館への来館が困難な人に希望図書を自宅にお届け)



4. 令和8年度当初予算 安塚区に関連する主な取組

◆地域独自の予算事業(新規提案事業)

①安塚花のまちづくり推進事業

(特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚)

旧安塚町が取り組んできた花のまちづくりを持続的に推進し、交流人口の拡大と地域の活気づくりの機会を創出するため、花苗の植栽、リバーサイドロードの花壇の除草、みどころマップ及び看板の制作等を行う。



②ユニバーサルツーリズム推進事業

(安塚観光協会)

雪だるま高原とその周辺地域で、障がい者や高齢者等、誰もが安心して自然体験や野外活動を楽しめるよう受入体制を整備し、他地域との差別化を図り、交流人口や経済効果の拡大を目指すため、インクルーシブスキーレッスンの支援、実務人材の育成等を行う。



③キハダ活用研究事業

(特定非営利活動法人 NPO雪のふるさと安塚)

漢方薬「百草圓」の材料として植林され、旧安塚町の町の木である「キハダ」を活用した地域活性化の可能性を探るため、キハダ活用研究会を立ち上げるとともに活用可能性基礎調査などを実施する。



④やすづか学園30周年記念シンポジウム開催事業

(やすづか学園菱里地域支援委員会)

やすづか学園の創設30周年を機に、安塚区での取組実績を広く知らせ、市内のフリースクールや教育関係者とともに不登校児童生徒の増加について市全体で考える機会とするため、講演会、パネルディスカッション等を含むシンポジウムを行う。



4. 令和8年度当初予算 安塚区に関連する主な取組

◆ 公共施設の整備等

① 安塚小学校トイレの改修

- ・校舎及び体育館の和式トイレの洋式化、洗浄便座、温便座の整備

【安塚小学校】



② 廃止施設の除却

- ・廃止した施設の解体・撤去
 - ★旧田舎屋
 - ★旧安塚かたくりの家 ほか

【旧田舎屋】



【旧安塚かたくりの家】



◆ 旧安塚中学校の利活用

- ・東頸中学校に統合し閉校となった、旧安塚中学校の利活用（民間事業者によるクルマエビの陸上養殖）

【旧安塚中学校】





ご清聴ありがとうございました。